

◆ あとがき ◆

本特集では、古くて新しいテーマである、感染症と腎疾患を取り上げました。

新型コロナウイルス感染症は、あらためて、人類にとっての感染症の脅威を認識する機会となりました。今後、地球の温暖化もあいまって、新たな感染症のリスクも注目されています。

感染症は、急性腎障害、慢性腎臓病（CKD）の原因として重要です。細菌感染に伴う糸球体腎炎の代表として、従来から溶連菌感染後急性糸球体腎炎がありますが、近年では感染症とほぼ同時にみられる高齢者の糸球体腎炎が増加してきており、感染関連糸球体腎炎と総称されるようになってきました。また、本特集でも触れていますが、ウイルスが関与する腎炎、間質病変、感染症と急性腎障害、腎・尿路感染症、腎移植患者の感染症も臨床的に重要です。さらに、IgA 腎症の発症に感染症は深く関わっています。

一方、CKD 患者は感染症のリスクが高く、保存期 CKD 患者の約 4%、透析患者の約 22% が感染症で死亡します。2022 年末のわが国の慢性透析療法の現況によりますと、慢性透析患者全体の死因の第 1 位がはじめて感染症となりました。腎臓病・透析患者は、免疫能低下等により、感染症罹患および重症化のリスクが高くなっています。多発性嚢胞腎における嚢胞感染、腎移植患者における感染症、腹膜炎などもこれらの患者の管理上重要な課題となります。

感染症を合併した CKD 患者では、CKD の進展が加速し、心血管疾患がいっそう増加します。さらに、透析患者は感染のリスクが高く、透析施設内の院内感染が問題となることがあります。2023 年末には、「透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドラインの改訂版（六訂版）」も発表されました。

本特集では、感染症と腎疾患について、病因としての感染症の意義、腎疾患における感染症の管理など、最新の情報を含めて多角的に取り上げました。本誌を日常臨床に役立てていただければ幸いです。

安藤 亮一

本誌広告取扱い

文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1

本郷宮田ビル 5 階 ☎ 03-3814-8541

メディカ 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-12-9

アド 第 1 長谷川ビル 2 階 ☎ 03-5776-1853（代）

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は©東京医学社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、一般社団法人出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

『腎と透析』次号予告——第97巻第1号（7月号）

特集：補体と腎疾患：温故知新

序文……………伊藤秀一

補体系の基本的な理解のために

補体学の歴史 レクチン経路の発見も

含めて……………町田 豪・他

生物の進化と補体……………中尾実樹

補体経路と制御機構……………井上徳光

自然免疫系と獲得免疫系における補体の役割……………小野伸之

好中球と補体系……………西端友香・他

補体と凝固系のクロストーク……………宮田敏行

補体欠損症と感染症……………植木将弘・他

補体関連検査……………大谷克城・他

補体が関連する腎疾患と腎病理……………井藤奈央子

腎疾患における補体と病態生理

急性糸球体腎炎……………山田宗治・他

全身性エリテマトーデス/抗リン脂質抗体

症候群……………庭野智子・他

溶血性尿毒症症候群（STEC, aHUS）……………加藤規利

膜性増殖性糸球体腎炎/C3 腎症……………水野正司

ANCA 関連血管炎……………有村義宏

腎移植：移植腎病理からの補体……………岩崎沙理・他

発作性夜間ヘモグロビン尿症……………植田康敬

腎疾患への抗補体薬の作用機序と有効性

抗 C5 モノクローナル抗体……………芦田 明

アバコバン……………廣村桂樹・他

イブタコバン……………澤井俊宏

ベグセタコバン……………西村純一

名誉主幹／酒井 紀	秋澤忠男	飯野靖彦	
編集顧問／五十嵐隆	遠藤 仁	小椋陽介	川村哲也
木村健二郎	小磯謙吉	小山哲夫	酒井聡一
坂井建雄	佐中 孜	塩之入洋	高市憲明
堀江重郎	細谷龍男	矢崎恒忠	山口 裕
山田 明	竜崎崇和		
編集主幹／有村義宏	小林修三	新田孝作	
編集委員／青柳一正	安西尚彦	安藤亮一	伊藤秀一
河原克雅	菅野義彦	清水 章	高橋公太
高橋 悟	坪井伸夫	長田道夫	服部元史
平和伸仁	星野純一	本田浩一	横尾 隆

第 96 巻第 6 号

©2024 年 6 月 25 日発行

定価 3,190 円

（本体 2,900 円 + 税 10%）

KIDNEY AND DIALYSIS
腎と透析

編集 腎と透析編集委員会

発行所 株式会社 東京医学社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-40-5

URL <https://www.tokyo-igakusha.co.jp>

編集部 03-3237-9113 FAX 03-3237-9115

E メール: jin@tokyo-igakusha.co.jp

販売部 03-3265-3551 FAX 03-3265-2750

E メール: hanbai@tokyo-igakusha.co.jp

2024 年前金予約購読料 1 力年 50,600 円（増刊号含む、税込）